

## 7. 点検評価と課題

2017年度より Hrvoje Petek 教授（ピッツバーグ大学）と中嶋 敦教授（慶應義塾大学）を研究顧問としてお招きし、所全体の研究評価、研究体制についての提言をいただいた。

2018年11月にはマックスプランク研究所（石炭科学研究所）の Benjamin List 教授より生命・錯体分子科学研究領域を中心にヒアリングが実施され、グループの研究内容の評価をいただいた。2018年11月にはヴェルツブルク大学の Eberhard Umbach 名誉教授により、光分子科学研究領域、UVSOR 施設、および昨年度設置されたメゾスコピック計測研究センターを中心にヒアリングが実施され、それぞれの研究内容の評価および活動の評価をいただいた。

（川合真紀）